

事業所名

多機能事業所しつぷひろば（児童発達支援センター）

## 支援プログラム

作成日

2026 年

2 月

12 日

法人（事業所）理念		平成21年に設立し、「生きる力を育てよう」「ひとりひとりが生活を楽しみながら共に育ち合うこと」を理念としています。「生きる力」とは・・・人との関わりの中で尊重され、認められ、「自分は愛されている」と実感もてること。その安心感の中で自分で表し、選び、行動していく力が育っていきます。									
支援方針		支援の基本方針は別紙参照									
営業時間		9 時	00	分から	17 時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※帰りは保護者様のお迎えをお願いしております。
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	生活リズムの調整、健康のための環境の配慮を行います。ひとりひとりの子どもに合わせた生活にかかわる日常生活動作の獲得を目指します。衣服の着脱、靴の着脱、食事の食具の使用、排せつ、手洗い、午睡、身体測定、嘔吐医による健康診断等を行います。									
	運動・感覚	あそびを通して体幹機能を高め、身体の使い方を学んでいきます。毎日の戸外あそびや散歩で「歩く」ことを意識します。斜面の上り下りや大型遊具あそび、ブランコやトランポリンの活用をします。リトミックでは音楽に合わせて身体を動かし、コントロールする力を身につけます。感覚遊びではスライムやどろんこあそび、プールあそびを通して感覚過敏軽減を目指します。									
	認知・行動	情報を得て認知（イメージや考え）の発達を促し、行動につなげる支援をします。またあそびを通して安心して過ごせるよう支援します。好きなあそびを自分で決めることや好きなあそびを継続していく環境を設定し、情緒の安定を保つ支援をします。認知の偏りなど個々の特性に配慮して支援します。									
	言語コミュニケーション	あそびや他者との関わりの中で自己理解、他者理解ができるよう支援します。自分の気持ちやSOSをことばやしぐさで伝える。相手（友だち）の気持ちを支援者に代弁してもらい関わり方を学びます。非言語コミュニケーション手段を用いて意思表示ができるよう支援します。									
	人間関係社会性	安心できる大人や友だちと集団参加できる機会を設定し、信頼関係、共感関係の構築を目指します。簡単なルールのお遊びの提供をします。友だちとのやりとりを通し、折り合いや他者理解につながるような支援をします。									
家族支援		定期的な懇談会にて療育相談を実施 子どもへの接し方を学ぶための保護者交流会や情報交換会、学習会 PTによる足育相談				移行支援		就園・就学にスムーズに移行するための連携支援 保育園・幼稚園への移行支援 就学に向けての保護者交流会の実施、相談援助			
地域支援・地域連携		各関係機関（医療・教育・子育て・保健・福祉）との連携を行い、子どもたちがより広く支援を受けられるような支援 小牧市自立支援協議会への参加（地域の課題解決、他機関との連携） 障害児等療育支援事業への参加（関係機関との協同事業への参加など）				職員の質の向上		研修計画の実施 法人理念研修/制度理解/直接支援技術・基礎知識（障害特性理解・子どもの発達・感覚統合）/虐待防止研修・身体拘束の適正化研修/救命講習/食中毒・感染予防研修訓練/てんかんアレルギー研修/車両運行研修/			
主な行事等		2025年の実績 花見・こどもの日・運動会・プール・ハロウィン・クリスマス会・節分・バレンタインクッキング（予定）・ひなまつり（予定）・卒園式（予定） 陶保育園交流・観劇会・保育参観（年2回）									

## 【ひろばの基本方針】

### 感覚の理解と安心の場



- それぞれ異なる感覚の感じ方を受け止め、子どもが「ここなら安心できる」と感じられる居場所づくりを大切にします。

### 学びと成長



- 遊びの中に学びがあり、学びの先に成長があります。遊びを通して、子どもの「できた」「やってみよう」を育み、成長につなげていきます。

### 自分を信じて未来へ踏み出す力



- 「自分は大切な存在だ」と感じられる心を育て、安心して挑戦し、自信をもって一歩を踏み出せる力を育みます。

### その子らしさが輝く場所



- それぞれの子どもの「らしさ」を受け止め、安心して自分を表現できる居場所づくりを大切にします。